

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	静脈洞血栓症の治療法と臨床経過に関する研究
研究責任者	聖隷浜松病院 脳神経外科 佐藤 史崇
研究実施体制	単施設後ろ向き観察研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2030年12月31日
対象者	2016年1月から2030年12月までの間に聖隷浜松病院脳卒中科・脳神経外科で加療を受けた静脈洞血栓症の患者さん。
研究の意義・目的	脈洞血栓症は何かしらの理由で、主に頭蓋内の静脈洞が閉塞することにより脳出血や脳梗塞などの多くの症状を呈する疾患です。当科では同疾患に対して、薬物療法や血管内治療を行っていますが、血管内治療に関してはその症例数の少なさから、最適なタイミングについて未だ不明確な点も多いのが現状です。 今回、同疾患を一定期間観察し、治療法と臨床経過に関する検討を行い、最適な治療方法を探ることを目的とします。
研究の方法	2016年1月から2030年12月までの間に聖隷浜松病院脳卒中科・脳神経外科で加療を受けた静脈洞血栓症の患者さんの内、診療録から手術前後の症状、画像情報、術中所見などが確認できた方を解析対象者とします。症状や病理学的特徴から分類分けを行い項目毎に検討します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 脳神経外科（氏名）佐藤 史崇 TEL:053-474-2222(代表) 脳神経外科外来 9:00～17:00 平日